

McHenry Savings Bank

ユーザー事例 – 金融



当行が必要としていたのは、最高水準の情報漏洩防止を提供し、行員の業務遂行を邪魔しないようなソリューションです。そこで見つけたのが、他のベンダーよりも抜きん出たソリューションを提供するクリアスウィフトでした。

アダプティブ リダクション技術を搭載した適応型DLPは、大変独創的で魅力的なパッケージでした。



どの金融機関にとっても、インフォメーションセキュリティは最優先にすべき課題です。

概要

1995年創業のMcHenry Savings Bankは、米イリノイ州マクヘンリー郡の住民30万8千人にサービスを提供する地方銀行です。現在3つの支店に67名の行員を抱え、カスタマーサービスを第一に心がけている銀行です。

経営上の課題

どの金融機関にとっても、インフォメーションセキュリティは最優先にすべき課題です。銀行では顧客の現住所や取引記録などの膨大な機密情報を取り扱っており、すべてが完全に保護されなければなりません。McHenry Saving Bankにおいても、この点は同じです。

いかなる銀行も、情報漏洩に関する厳格な法令に違反すれば、それが故意による情報漏洩であれ、行員が誤って不適切なファイルを共有してしまった場合であれ、消費者金融保護局 (CFPB) により多大な罰金が課せられます。

McHenryではこれまで、標準的な情報漏洩防止策に加え、電子メールのスパムフィルタを併用してきました。しかし、この時代遅れのインフラのせいで電子メールが送れない、または届かないといった苦情が絶えず、これが銀行業務の生産性にとってボトルネックとなっていました。

「異なる交換システム間には互換性がなく、これが当行のセキュリティシステムの最大の弱点となっていました。例えば、当行の顧問弁護士の一人はYahooのDNSを使用しており、重要な法律上の書簡が保存されていますが、当行のシステムとは互換性がないのです。」 McHenry Savings Bankの最高情報責任者 (CIO) であるブライアン ナッシュ氏はこう語ります。

電子メールが届けられるべき宛先に到達しないという問題に加え、それまでに使用されていたDLPソリューションが、セキュリティプロセスに非常に大きな遅延をもたらすという問題もありました。このDLPソリューションは、電子メールがゲートウェイを通過する前にスキャンするタイプのもので、シンプルな電子メールを送信するのにも、時には20分もかかっていたのです。

「人は電子メールが一瞬で届くものと思っています。まさかメールを受け取るのに何分もかかるとは考えてもみません。メール配信の遅延による行員の不満は、抑えきれないほどのレベルに達していました。」 (ナッシュ氏)

クリアスウィフトについて

クリアスウィフトは組織のビジネスクリティカルな情報を保護し、セキュアなコラボレーションの実現とビジネスの成長を推進する、世界から信頼を受けている情報セキュリティ企業です。

クリアスウィフトの革新的技術は、アダプティブ (適応型) DLP (情報漏洩防止) への迅速な移行をサポートし、ビジネスの阻害要因となるリスクを除去し、組織の機密データの常時100%の可視化を実現いたします。

クリアスウィフトはヨーロッパ、オーストラリア、日本、アメリカに拠点を置き、900社を超えるリセラーとともに世界各地でビジネスを展開しています。

クリアスウィフト及び製品、サービスに関する詳しい情報は弊社ホームページをご覧ください。

www.clearswift.co.jp

クリアスウィフト株式会社

東京都新宿区西新宿3-7-1
新宿パークタワーN30階
Tel :03-5326-3470
Fax: 03-5326-3001
Email: sales.jp@clearswift.co.jp
Website: <http://www.clearswift.co.jp>

clearswift

クリアスウィフトのソリューション

エンドユーザーからの度重なる苦情を受けて、IT部門ではITインフラの見直しを行い、電子メールのセキュリティシステムを完全に入れ替えることを決めました。そこで数社からの提案を検討し、ナッシュ氏と彼のチームはクリアスウィフトのアダプティブ リダクション技術を搭載したClearswift SECURE Email Gateway (SEG) を採用することにしました。この決定についてナッシュ氏は次のように述べています。

「当行が必要としていたのは、最高水準の情報漏洩防止を提供し、行員の業務遂行を邪魔しないソリューションです。そこで見つけたのが、他のベンダーよりも抜きん出たソリューションを提供するクリアスウィフトでした。アダプティブ リダクション機能を持つ適応型DLPと、他のベンダーにはないカスタマーサポートは、たいへん魅力的なパッケージでした。」

ナッシュ氏は、使用中の旧型DLPを弾力性のある電子メールスクリーニングシステムと置き替えるため、SEGに構造サニタイゼーション機能とドキュメント サニタイゼーション機能、データリダクション機能の3つを実装しました。送受信される電子メールはゲートウェイにおいてスキャンされます。機密性や悪意があると判断された箇所はすべて自動的に除去され、残りの部分はそのまま通過が許可されます。

ナッシュ氏が挙げたもう一つの決定要因は、クリアスウィフトのソリューションがあらゆるメールシステムと互換性を持つ点です。このおかげで、行員は電子メールが間違いなく送受信されることに確信が持てるようになりました。以前のシステムでは、この点の保証が全くなかったのです。

ROIとメリット

クリアスウィフトのソリューションは電子メールをゲートウェイにおいてスキャンします。送信メールの安全性を確保するために、電子メールが幾層ものレイヤーをくぐり抜ける必要がありません。そのため、遅延時間は大幅に短縮されます。しかも機密情報が組織外に発信されることがなく、悪性のコンテンツが組織内に侵入することはありません。また、ソリューションの管理を社内で行えるため、ポリシーの調整やコントロールが必要なおきには、IT部門が容易に行うことができます。これは、設定変更が有償となる場合が多いクラウドベースのセキュリティソリューションと比べると、大きなメリットです。

行員の皆さんは、安全なメールが瞬時に送受信できるという恩恵に浴しながら、同時にこのソリューションから学ぶことも多いようです。ポリシーによって機密情報が秘匿化され、ある種の形式のファイルが送信できないことを体験するうちに、セキュリティ上のエチケットや、規制違反をしないように気を配る習慣が身に付い

てきました。アダプティブ リダクションは、許可を得ていない人とは機密情報が共有されないようにしながらも、業務に必要なコラボレーションを阻害することがありません。

この点について、ナッシュ氏はこうコメントしています。「一緒に働いている同僚が絶対に悪いことはしない、と断言することは誰にもできません。情報漏洩の99%は意図しないものだと思います。また、たとえそれが起きても、今では自分たちがそれを止められることに確信を持つことができました。」

クリアスウィフトのソリューションを導入して以来、ナッシュ氏と彼のチームメンバーは、戦略的に重要な業務に集中できる時間が増えたことに気づきました。以前のシステムでは、メールが送信されないなどといった問題やその他の保守業務のため、毎週何時間も費やさなければなりません。ナッシュ氏によれば、多くのことが自動化された現在、問題解決や保守に費やす時間が一日あたり30分ほどに激減したそうです。日常の問題解決に忙殺されなくなった分、銀行業務を次のレベルに引き上げるための新たなIT戦略に集中する時間の余裕が生まれました。

「クリアスウィフトのソリューションの長所を一言で述べると、簡単に使える、でしょうか。設定をしたら、後は勝手にやらせておけばいいのですから。」 ナッシュ氏は最後に、カスタマーサポートについて、「あらゆる企業がカスタマーサービスをきちんと提供しようとしていますが、クリアスウィフトがそれに成功していることは間違いありません。そんな例にはなかなかお目にかかれませんが。」と締めくくりました。